

取扱説明書

折りたたみ棚受 (2個入りセット)

『オレルノ』 FDB-200・300 共通 … 設置の手順については、裏面をお読みください。

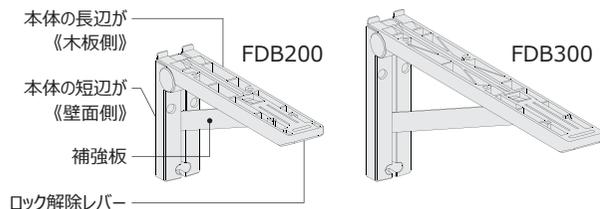
Coconi
『ココに』シリーズ

ご注意

- この度は、本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
製品本来の性能を維持し未永くご使用いただくために、本説明書をしっかりお読みいただき正しく取扱う様をお願いします。
◆誤った使用方法による事故・破損等に関しましては、責任を負いかねますのでご注意ください。
- 製品 2 個に対し木板 (化粧板・棚板など) 1 枚を取付けてください。
◆木板 1 枚に製品 3 個以上は取付けできません。
… 折りたたみ操作が非常に難しくなります。
◆木板は、別途ご用意ください。… サイズの条件は別途記載
- 室内の直接水が掛からない場所に設置してください。
◆浴室には使用できません。… 劣化を早める原因になります。
◆設置作業は安全のため 2 人以上で行うことをお勧めします。
- ご使用時の荷重に十分耐える強度を有した壁面等にネジ止めし、しっかりと固定してください。
◆《木質下地の壁》または《木材面》に付属のネジで固定してください。
◆強固にネジ止めできない《壁面/木材面》には設置しないでください。
- ご使用時は、パッケージに記載の《安全荷重》をお守りください。
◆積載物は、できるだけ集中させずに分散させて置いてください。
◆特に、重量物を木板先端部だけに集中させるのは避けてください。

製品仕様

- 主な材質/製品サイズ
◆カバー: PC 樹脂 ◆補強板: スチール塗装仕上
- ◆内部: ステンレス材
- ◆使用時: 幅 35.5× 高さ 105× 奥行 195mm … FDB200
幅 35.5× 高さ 135× 奥行 295mm … FDB300
- ◆収納時: 厚さ 約 31mm … FDB200・300 共通
- 操作方法/使用時の図 … 90 度開いた状態
◆開く時: 本体を開き切った位置で自動的に補強板をロックします。
◆たたむ時: 左右に配置した本体の先端のロック解除レバーを《同時》に押しながら木板ごと少し持ち上げるとロックが外れます。
そのまま手で支えながら、ゆっくりとたたんでください。

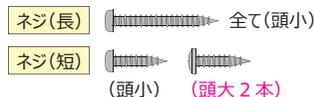


セット内容

- 全て揃っていることをご確認ください。
- ◆製品本体 … 2 個 ◆取扱説明書 (本紙) … 1 枚
- ◆設置用型紙 … 1 枚 ◆取付けネジ (タッピンネジ) … 1 式

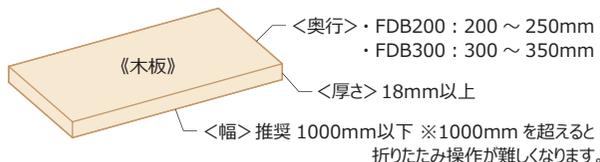
ネジの種類	サイズ	FDB200	FDB300
《壁面用》ネジ (長)	M4×35	8 本	8 本
《*》《木板用》ネジ (短)	M4×18	6 本	8 本

【*】※ネジ頭部は本体と同色 (近似色) 塗装仕上
【*】内 2 本は、ネジ (頭大) です。… 先端部止め用



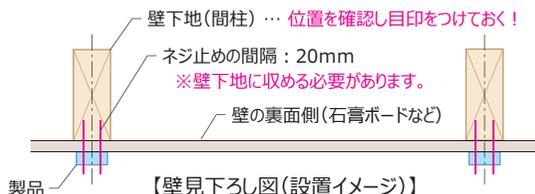
別途ご用意いただくもの

- ◆木板 (化粧板・棚板など) … 1 枚/サイズ条件は下図による
- ◆プラスドライバー (電動でも可) … 設置時のネジ止めに使用
- ◆巻尺など長さ測定する道具 … 設置時の位置出しに使用
- ◆市販の押しピン × 2 個 … 設置時の下穴の目印用
- ◆木工用 下穴ドリル … サイズ (ドリル径) 2.0 ~ 2.5mm



設置について

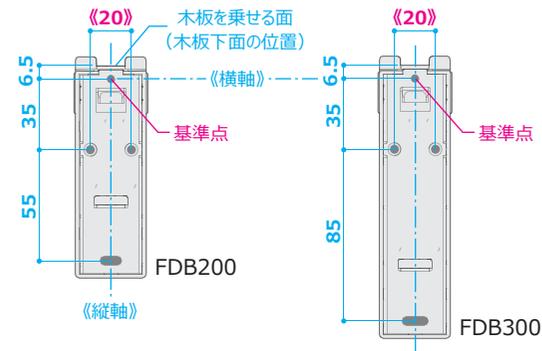
- 本説明書では、《木質下地の壁》に設置する場合の取付け方法について説明しています。
- 《上記以外に設置する場合》や《取付けに不安がある方》は、専門業者にご相談いただくことをお勧めします。
- 事前に《壁下地の位置》の確認を済ませておいてください。



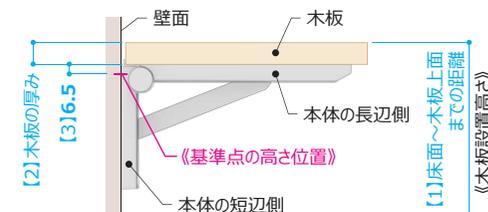
設置の基準点

※寸法の単位は《mm》

- 本体の短辺側を裏から見た図 … 90 度開いた状態
- 製品の《基準点》と《取付け穴の位置》を示す
- 基準点 《縦軸》製品の中央 《横軸》製品の上部取付け穴の位置
- この基準点が壁面側の《設置の基準点》になります。



- 《設置の基準点》は、必ず壁下地へのネジ止めが効く位置に設定してください。 ※ネジ止め間隔《20mm》を考慮ください。
- 事前に、ご使用時の《木板の設置したい高さ》を決めて《基準点の高さ位置》を算出しておいてください。
- ★算出方法: 【1】床面~木板上面までの距離 から 【2】木板の厚み 【3】6.5 を差し引いた値
- ★算出例 … 木板設置高さ 1m / 木板の厚み 20mm の場合
【1】1000 - 【2】20 - 【3】6.5 ⇒ 《基準点の高さ》 973.5mm



《ご使用時のメンテナンスについて》

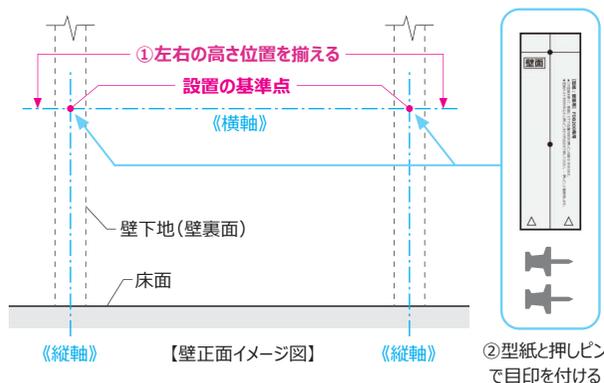
- ご使用中に木板のグラツキを感じた時は、ネジの緩みが原因と考えられます。
★《壁面側・木板側》共にネジを締め直してください。
- お手入れの際は
★シンナー等の有機溶剤で清掃しないでください。⇒ ひび割れの原因となります。
★軽い汚れ … 柔らかい布に水を少量付けて軽く拭取る。
★その他汚れ … 柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少量付けて拭取り後、洗剤の残りもきれいに拭取る。
★拭取りの際は、強くこすらないでください。⇒ 表面に傷が残ることがあります。

設置の手順

★重要ポイントにはマークを付けています。
★製品は、できるだけ床面・木板に対し《垂直》になる様に設置してください。

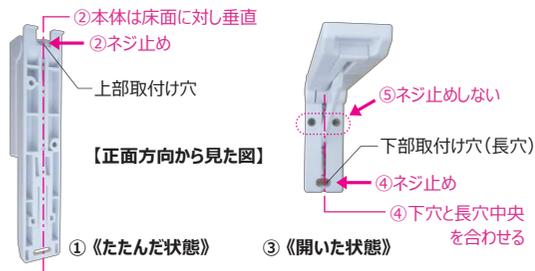
1 壁面に、本体をネジ止めするための下穴を開ける

- ①はじめに、壁に《設置の基準点》の目印を付ける。
★縦横 2cm 程度の《十字の目印》を鉛筆等で記入。
- ★左右の基準点は、必ず高さ位置を揃えてください。
- ②次に、型紙と押しピンを使って、《下穴位置》の目印を付ける。
★詳しくは、型紙に記載の説明文をお読みください。
- ③あとは、《押しピン跡：左右各 2 箇所》の位置に下穴を開ける。
★下穴（推奨）：直径：Φ2.0 ～ 2.5mm



2 壁面の下穴位置に本体短辺側をネジ止める

- ★ここからは、《FDB-200 の図》で説明します。
… FDB-300 も要領は同じです。
- ★《壁面用ネジ(長)》を使用します。
- ①本体を《たたんだ状態》にする。
 - ②本体上部の取付け穴を《下穴の上側》に合わせてネジ止め。
 - ★この時、本体は床面に対し《垂直》にしてください。
 - ③壁側の本体をしっかり支えながら《開いた状態》にする。
 - ④本体下部の取付け穴(長穴)をネジ止め。
★この時、下穴が長穴の《ほぼ中央》にくる様にしてください。
 - ⑤この時点で本体中間部の左右取付け穴はネジ止めしません。

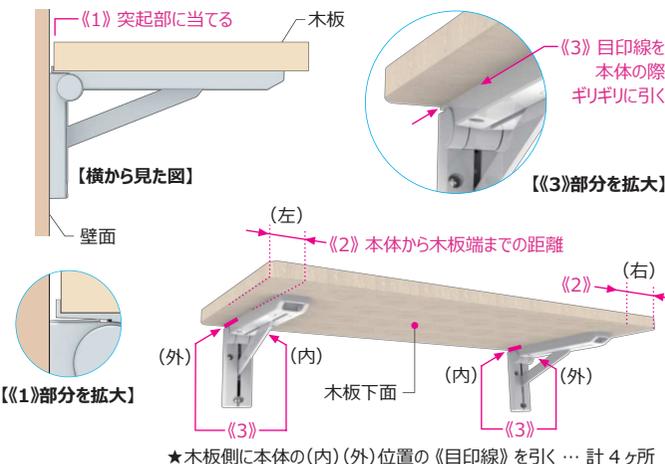


3 開いた状態の本体に、木板を仮乗せて目印を付ける

- ①はじめに、本体に木板を乗せて平行に乗っているかを確認する。
★本体～木板間の隙間 4 箇所全ても、ほぼ均等になっていれば OK。
★均等でない場合は、本体下のネジを一旦緩めて、本体の角度を微調整して、4 箇所の間隔を均等にしてください。



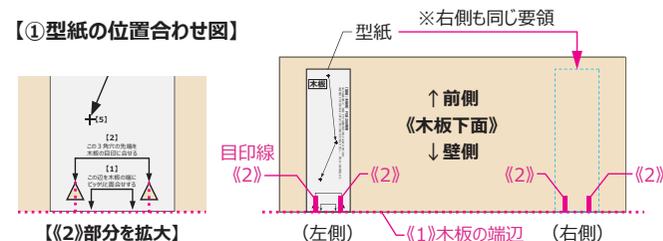
- ②次に、木板の位置出しをする。
★《1》木板の壁面側：本体の突起部に当てて密着させる。
★《2》木板の左右両端：本体からの距離を左右均等にします。
- ③あとは、木板下面に本体の位置を示す目印を付ける。
★《3》本体の根元部分に鉛筆等で 2cm 程度の《目印線》を引く。
★本体を定規代わりにして、出来るだけ本体の際ギリギリに引いてください。



4 木板を一旦下ろして、木板に下穴を開ける

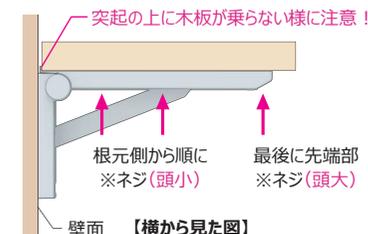
- ①型紙と押しピンを使って、《下穴位置》の目印を付ける。
★型紙の位置合わせ：《1》木板の端辺 《2》目印線 で合わせます。
… 右欄上の【①型紙の位置合わせ図】参照
★詳しくは、型紙に記載の説明文をお読みください。
- ②木板の《目印(押しピン跡)》の位置に下穴を開ける。
★木板を貫通しない様に注意してください。
★下穴（推奨）：直径Φ2.0 ～ 2.5mm
- ③下穴加工が終わったら、木板を元通り本体に乗せてください。

【①型紙の位置合わせ図】



5 本体に木板をネジ止めして固定する

- ★ネジは、《木板用ネジ(短)》を使用します。
- ★ネジを強く回し過ぎて、木板側のネジ穴を潰さない様ご注意ください！
- 【推奨】手動ドライバーによる手締め
- ①《本体の穴》と《木板の下穴》を位置合わせする。
 - ②本体の根元側の穴から順に ⇒ 最後に先端部をネジ止める。
- ★先端部のみ、ネジ(頭大)を使用します。



6 動作確認後、壁側の本体をネジ止めし本固定する

- ★ネジは、《壁面用ネジ(長)》を使用します。
- ①《たたむ ⇄ 開く》を何度か繰り返して正常に動作するかを確認。
★操作方法については、裏面の《製品仕様》を参照
★補強板が引掛かることなく、スムーズに動作することを確認します。
★通常は、軽く押込む程度でスムーズにたためますが、強く押込まないとたためない場合は、本体の壁側と木板側が少しねじれた状態になっていることが原因と考えられます。
壁側本体下のネジを一旦緩めて、本体の角度を微調整して、ねじれを取り除いてください。
 - ②最後に、壁側本体の残りの取付け穴をネジ止める。
 - ③設置完了です。⇒ [ご利用いただけます。](#)

